



励徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



第31号
R5.12.8発行
文責 永田 功臣

「れいとくの日」 ~ご協力ありがとうございました~

1日(金)の「れいとくの日」には、多数ご来校いただきありがとうございました。いろいろなものを詰め込んだので、すこし慌ただしいところではございましたが、NPO富神ネットの方々や保護者の皆様のご協力により、何とか最後の学級懇談会まで行うことができました。

子どもたちの成長、太鼓の出来栄え、餅つきの再開等、いかがだったでしょうか。ご感想等いただければ幸いです。

いずれにしても、「れいとくの日」は大きな行事の一つです。これからも工夫しながら、地域や保護者の方々と一体になって、**子どもたちの成長を「支える」、「喜ぶ」**日にしていきたいと思ひます。

※余ったもち米は、今年度は販売しましたが、多数購入いただきありがとうございました。収益金は子どもたちのために活用させていただきます。



☆はろから☆

~キラリと光る励徳っ子~

地域での縦割り学年での遊びや小学校の部活動等が段々となくなっていく中、少人数の本校では複数学年での活動がたくさんあります。**先輩の姿を見て「次は自分が」という気持ちになる機会が多いのは本校の強み**でもあります。先輩から学ぶ流れを切らないように、これからも縦のつながりを大切にして、教育活動を行っていきます。

「れんぞくまえまわり」
一年 高田 悠貴
いつきくんがじょうずにまわった
「すごい ぼくもしてみたい」
やすみじかんにもれんしゅうして
二ねん生では
ぜったいできるようになるぞ



もっとサイエンス



餅つきは、うまくつくことができましたか。ふと、臼(うす)を見ると「**阿蘇溶結凝灰岩**」が使われています。この石は、石橋や家の石垣の他、石灯笼や石仏などに使われています。全体が灰色っぽく、**細長いレンズ状の模様**があるのが特徴です。

なぜ、この石が使われているのでしょうか。また、この模様はどうやってできているのでしょうか。それは、この石のでき方と関係してきます。この石は、主に阿蘇山4回目の大噴火の折に噴出したものが、**一団となって地面を素早く流れ、その後冷え固まってできた**ものです。その熱と重さで、中の軽石や黒曜石が押しつぶされて模様を作っています。そのため、**硬さが程よく比較的軽い石**で加工しやすく、緑川沿いで豊富にとれるからだと思われます。臼(うす)をもう一度見たり、詳しく調べたりしてみてください。

キラリと光る励徳っ子



<宇城絵画展>

金賞	5年 杉本 月鈴	※再掲
銀賞	1年 下田 琴葉	2年 松本 城都
	3年 田村 心路	4年 中村 陽希
	6年 黒田 那月	島田 惇史
入選	1年 高田 悠貴	片山 八恵
	田村 稀道	
	2年 杉本 陽麻	谷澤 樹希
	本田 陽凧	田村 ゆず
	平野 心菜	渡邊 大翔
	5年 増永 初華	吉岡 明美奈
	6年 渡邊 敢太	森田 コウジ



おいしい美里米をいただきました

今年も町の品評会に出されたお米を給食用としていただきました。美里米は九州で一番という評価をいただいているお米です。子どもたちには、ふるさとを誇りに思うとともにそのふるさとの味をしっかりと味わって食べてほしいと思います。

